

SBOs	科目及び講義課題	講師名	時間数			
			集合	オンライン	遠隔	
1. 水中に存在するクリプトスポリジウムオーシストの検査を行うことができる。	1 試験法の習得					
	1.1 試験法の解説	泉山信司	A	1.5		
	1.2 遺伝子検査法の導入に向けて	三浦尚之	A	2		
	1.3 演習1(遺伝子検査法を含む一連の試験操作のデモンストラーション)	泉山信司 他	B	6		
	1.4 実験(濃縮・精製・染色・顕微鏡観察、遺伝子検査)	八木田健司 他	C	47		
1.5 演習2(作成標本、遺伝子検査結果の評価)	主任・副主任 他	B	2			
2. 水道において、浄水施設でのろ過施設の整備、水源変更等によるクリプトスポリジウム対策の現状を説明することができる	2 対策の現状					
	2.1 原虫汚染への行政対応	(水道課)	A	1.5		
3. クリプトスポリジウムの発生源、水源における汚染実態、監視方法に関する基礎知識並びに最近の諸問題を説明することができる。	3 水源における汚染実態と監視方法					
	3.1 原虫の生物学的特性と水系感染	浅田安廣	A	1.5		
	3.2 原虫汚染の実態	(原本英司)	A	1.5		
4. 浄水システムにおけるクリプトスポリジウムの除去及び水質管理技術について専門知識を説明することができる。	4 浄水システムにおける水質管理技術					
	4.1 水道システムと水の安全性	秋葉道宏	A	2		
	4.2 水系感染リスク評価と制御	島崎大	A	1.5		
			小計	66.5		
時間数	集合	A 11.5 B 8.0 C 47.0 D	E		合計	66.5
	オンライン	A B C D	E			
	遠隔	A B C D	E			

Aは講義、Bは演習、Cは実験、Dは見学、Eはその他、修了時評価等（オリエンテーション、開講式・閉講式は除く。）